科目名			担当教員	
ライフサイクルと福祉心理学			渡部　純夫	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
FF2522	1	1	S（講義）	1 年以上
生成 AI 利用レベル		試験（スクーリング含む）　：　C		

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2026 年度開講します。

科目の概要

■到達目標

１）エリクソン心理社会的発達の８段階が正確に説明できる。

２）家族関係の変化に伴って起こる問題や課題を、具体的に解説できる。

３）家族関係の変化に伴って起こる問題や課題に、「福祉心理学」がどのように貢献できるか説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人間理解力」「主体的協働力」を身につけてほしい。

■教科書・参考図書

【教科書】

（スクーリング時の教科書）

佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行編著『福祉心理学総説』田研出版、2011 年

【参考図書】

小松紘・木村進・渡部純夫・皆川州正編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学（改訂版）』八千代出版、2019 年

中山哲志・稲谷ふみ枝・深谷昌志編『福祉心理学の世界』ナカニシヤ出版、2018 年

今城周造編著『福祉の時代の心理学』ぎょうせい、2014 年

石隅利紀・藤生英行・田中輝美編『生涯発達の中のカウンセリングⅡ　子どもと学校を援助するカウンセリング』サイエンス社、2013 年

小俣和義編著『こころのケアの基本』北樹出版、2013 年

■スクーリング受講にあたっての留意事項

事前に「福祉心理学」のスクーリングを受講するか、またはレポートを提出してから受講されることをお奨めします。

■スクーリングで学んでほしいこと

人間は、生まれてから死ぬまでのライフサイクルにおいて、家族の変容に伴い様々な悩みや問題と遭遇していきます。問題の意味を自己成長というキーワードをもとに考えつつ、その対応をどうしていくのがよいかについて、福祉心理学の視点から掘り下げていきます。自分自身の生き様や家族のことを考えながら学んでいただきたいと思います。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	家族における発達的視点からの人格形成を理解する	エリクソンの心理社会的発達の 8 段階の特徴と意味について発達プロセスの時間軸をもとに学ぶ。
2	家族と福祉を結ぶもの	家族の中で起こる問題のメカニズムと、なぜ福祉的援助が必要かについて学ぶ。
3	親子関係に見る問題と福祉心理学的アプローチ	親子関係における問題や課題に対して、福祉心理学的アプローチをどう行うかを学ぶ。
4	夫婦関係に見る問題と福祉心理学的アプローチ	夫婦関係における問題や課題に対して、福祉心理学的アプローチをどう行うかを学ぶ。
5	兄弟姉妹関係に見る問題と福祉心理学的アプローチ	兄弟姉妹関係における問題や課題に対して、福祉心理学的アプローチをどう行うかを学ぶ。
6	乳幼児の問題と福祉心理学的アプローチ	虐待や児童の福祉について学ぶ
7	児童の問題と福祉心理学的アプローチ	いじめ・不登校などの問題について学ぶ。
8	思春期・青年期の問題と福祉心理学的アプローチ	自立と大人になることなどの問題について学ぶ
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

重要な点は板書しますが、口頭にて説明を行っていきます。
自分で大事だと思われる点はノートにまとめてください。
可能であればロールプレイを入れます。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験 100%（ノートのみ持込可）。
試験では、特に到達目標記載内容についての理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書第３章、第４章、第５章、第 10 章を読んできてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

講義内容からさらに深く学びたいと思ったことに対して、調べてみてください。